

箱崎商店連合会

どんな商店街？

創建1100年を迎える筥崎宮に隣接する箱崎商店街は、地下鉄、JR、バスと、交通アクセスのよい立地で、9月に筥崎宮で「放生会」の神事・イベントが行われる際は、参道やその周辺で多くの人が賑わいます。その周辺の商店街やお店に人を呼び込むため、様々なイベント等を開催するとともに、増加する加盟店や人口に対応すべく、箱崎商店街や箱崎の街の魅力を伝える役割も担っています。



放生会特別企画ハコフェス

街のあちこちで様々なイベントを開催することで、街や商店街を知ってもらうきっかけをつくる

1. 商店街の課題

一年で箱崎の街が最も賑わう時期である筥崎宮・放生会の期間は、参道には人が集まりますが、その周辺の商店街に人を呼び込めていない課題があります。

2. 「放生会特別企画ハコフェス」を開催

JR箱崎駅前広場ではマルシェや音楽ステージ、ハコザキオリジナルのダンス「ハコわダンス」(新しい盆踊り)などを行ったほか、昨年度制作した「ハコさんぽMAP」を配布し、箱崎の街と商店街のお店を知ってもらう機会としました。また駅以外においても、大學湯(イベントスペース)やブックスキューブ箱崎店のカフェ・ギャラリーと同期間にイベントを行い街を回遊するきっかけをつくりました。



3. 効果があったと思われること

障害のある方々や外国人、お年寄りから子どもまで、様々な人たちが運営し、参加して楽しめる場をつくることで、多世代交流や多様性のあるまちのあり方に貢献したと思います。また、商店街の加盟店や自治会、アーティストや各イベント関係者、学生さんなどに企画から運営まで参加してもらうことで、お店同士や地域内外のつながりが生まれ、新たなコミュニティ形成と持続可能なまちづくりの仕組みをつくる一助となりました。

4. 来街者の声・会員さんの声

2日間の来場者は、昨年度と比較して約60%増加しており、多くの方に認知していただいたことに加え、「新たに箱崎の店舗のことを知るきっかけとなった」という声を頂きました。近隣の九大跡地に出店予定の事業者も多くみられ、今後商店街や既存の事業者との連携が期待されます。



5. 反省点や今後の取り組み

九大跡地を中心に変わりゆく街で、新たな事業者や住民とも連携し、本イベントを継続していけるようにしていきたいです。